

科目名：成人歯科学Ⅲ＜補綴＞		必	1 単位 (45 時間)
(Prothodontic Dentistry)			
履修年次/時期：2 年次 前期		授業形態：講義	
主担当教員：玉置勝司（実務経験有）実務内容：①クラウンブリッジ補綴学（歯学部 4 年生）1982～2002 年、実習担当、②全部床義歯補綴学（歯学部 3 年生）、部分床義歯補綴学（歯学部 4 年生） 2012～2014 年、講義、実習担当、③全部床義歯補綴学（歯学部 6 年生）、部分床義歯補綴学（歯学部 6 年生）2012～2014 年、講義、④1982～2023 年（歯学部 5 年生、6 年生病院臨床実習、補綴治療）			
実務経験を生かし、基礎的な知識と臨床応用、そして患者への指導および対応についてポイントを教える。			
学修目的	歯科臨床では補綴治療は多くの割合を占めます。診療には診療補助が不可欠であり適切な診療補助や予後管理を行うためには、補綴治療を理解する必要があります。そのための基礎になるのが補綴学です。ここでは咬合の基礎から、クラウン、ブリッジ、局部床義歯、全部床義歯などの補綴装置を製作するための診査診断から装着予後管理までの全般的な内容を修得します。 CP 2,3 に関連する 科目 NoS2C09H05		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	（1）生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		（2）医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	（1）教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	
		（2）専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		（3）社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通して、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	（1）多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		（2）優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		（3）歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP		
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	①顎運動を理解し咬合に関連する専門用語を説明できる ②クラウンの種類、適応症と禁忌症、診査診断から予後管理まで理解し、基本的な診療補助を考えることができる ③クラウンの支台築造について説明できる ④ブリッジの種類、適応症と禁忌症、診査診断から予後管理まで理解し、基本的な診療補助を考えることができる ⑤ブリッジの平行測定、ボンティック、蟬着、局部床義歯との違いについて説明できる。 ⑥局部床義歯の種類、適応症と禁忌症、診査診断から予後管理まで理解し、基本的な診療補助を考えることができる ⑦局部床義歯の維持、支持、把持、維持装置、連結装置の説明ができる ⑧全部床義歯の種類、適応症と禁忌症、診査診断から予後管理まで理解し、基本的な診療補助を考えることができる ⑨全部床義歯の印象採得について、その特徴を説明できる ⑩全部床義歯の咬合採得について、咬合用語を用い適切に説明できる ⑪咬合の概要を理解し、歯牙欠損や実質欠損症例に対する補綴方法を理解する。 ⑫各分野の診療に対して、必要な器具機材を準備・使用・管理し、適切な診療補助を行い、患者説明や指導ができる。 ⑬補綴治療で使用する器具、器材の管理、用途、使用方法が説明できる		

授業概要	咬合の基礎からクラウン、ブリッジ、局部床義歯および全部床義歯などの補綴装置を製作するための診査診断から装着 予後管理までの補綴治療の全般的な内容を修得する。
評価方法	講義への参加度（10%）、定期試験の総合評価（90%）、試験に対するフィードバックは掲示で行う。
予習・ 復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間
教科書	歯科衛生士講座 歯冠修復と欠損補綴の治療と診療補助 永末書店
参考書	咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴 第 2 版 医歯薬出版
オフィス- 連絡先	玉置勝司：講義前・後の 20 分間（10：20～10：30、12：10～12：20）、教室 全日、tamaki@kdu.ac.jp

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (4/)	第1章 歯科補綴治療の目的 ①歯科補綴の意義目的特徴について説明できる。 ②歯科衛生士の役割について説明できる。 ③確認試験（国試問題を含む）	[予習]教科書 P2～5を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 補綴治療の意義と目的、固定性補綴装置、可撤性補綴装置、顎顔面補綴装置、歯科衛生士の役割	講義 ○玉置勝司
2 (4/)	第2章 顎口腔系の機能と構造（1） ①顎口腔系機能の機能について説明できる。 ②歯列弓と対向関係について説明できる。 ③確認試験（国試問題を含む）	[予習]教科書 P6～18を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 咀嚼、発音、構音、歯列弓、咬合平面、カンペル平面、フランクフルト平面、対向関係	講義 ○玉置勝司
3 (4/)	第2章 顎口腔系機能の機能と構造（2） ①咬合について説明できる。 ②下顎運動について説明できる。 ③確認試験（国試問題を含む）	[予習]教科書 P18～25を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 筋、顎関節、下顎位、下顎の基本運動、ポッセルトの図形、咬合接触様式、偏心位、顎関節症	講義 ○玉置勝司
4 (5/)	第3章 補綴装置の分類 ①クラウンブリッジについて説明できる。 ②有床義歯（可撤性補綴装置）について説明できる。 ③インプラント補綴装置（義歯）について説明できる。 ④確認試験（国試問題を含む）	[予習]教科書 P26～33を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 部分被覆冠、全部被覆冠、固定性ブリッジ、半固定性ブリッジ、可撤性ブリッジ、全部床義歯、部分床義歯、インプラント補綴装置	講義 ○玉置勝司
5 (5/)	第4章 クラウンブリッジの構造と技工操作（1） ①部分被覆冠と全部被覆冠について説明できる。 ②支台築造について説明できる。 ③確認試験（国試問題を含む）	[予習]教科書 P34～45を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 部分被覆冠、全部被覆冠、支台築造、金属アレルギー、技工操作	講義 ○玉置勝司
6 (5/)	第4章 クラウンブリッジの構造と技工操作（2） ①ブリッジについて説明できる。 ②クラウンブリッジの技工操作を説明できる ③確認試験（国試問題を含む）	[予習]教科書 P46～57を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 連結部、ボンティック、ボンティック基底面	講義 ○玉置勝司
7 (5/)	第5章 有床義歯の構造と技工操作（1） ①有床義歯の目的について説明できる。 ②義歯の種類について説明できる。 ③義歯の構成要素について説明できる。 ④特殊な義歯について説明できる。 ⑤確認試験（国試問題を含む）	[予習]教科書 P58～66を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 中間欠損、遊離端欠損、全部床義歯、即時義歯、顎補綴装置、インプラント義歯	講義 ○玉置勝司
8 (5/)	第5章 有床義歯の構造と技工操作（2） ①義歯製作法の概略を説明できる。 ②確認試験（国試問題を含む）	[予習]教科書 P67～77を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 義歯床、人工歯、支台装置、テレスコープ義歯、金属床義歯、オーバーデンチャー、ノンメタルクラスデンチャー、咬合床、埋没、重合	講義 ○玉置勝司
9 (6/)	第6章 クラウンブリッジ治療の臨床ステップと診療補助（1） ①クラウンブリッジ治療の検査について説明できる。 ②クラウンブリッジ治療の支台築造について説明できる。 ③クラウンブリッジ治療の支台歯形成について説明できる。 ④印象採得、咬合採得、色調選択、プロビジョナルレストレーションについて説明できる。 ⑤確認試験（国試問題を含む）	[予習]教科書 P78～96を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 口腔機能発達不全症、口腔機能低下症、検査、咬合力、支台築造の種類と材料、支台歯形成、平行測定、口腔外バキューム、精密印象、咬合採得、色調選択、プロビジョナルレストレーション	講義 ○玉置勝司

10 (6/)	第6章 クラウンブリッジ治療の臨床ステップと診療補助(2) ①試適から装着について説明できる。 ②インプラント補綴装置(義歯)について説明できる。 ③確認試験(国試問題を含む)	[予習]教科書 P 97～121 を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 精密印象、咬合採得、色調選択、プロビジョナルレステーション、試適、調整、仮着、装着、外科手術(一次手術、二次手術)、オープントレー、クローズトレー、上部構造、スクリュー固定、セメント固定、インプラントオーバーデンチャー(IOD)	講義 ○玉置勝司
11 (6/)	第7章 デジタルデンティストリーによるクラウンブリッジ治療の臨床ステップと診療補助 ①デジタルデンティストリーによるクラウンブリッジの種類について説明できる。 ②デジタルデンティストリーによるクラウンブリッジについて説明できる。 ③確認試験(国試問題を含む)	[予習]教科書 P122～133 を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] デジタルデンティストリー、CAD/CAM、セラミックブロック、モデルスキャナー、口腔内スキャナー、切削加工、付加造形(3Dプリンター)、歯科技工物管理、ジルコニアクラウン	講義 ○玉置勝司
12 (6/)	第8章 有床義歯治療の臨床ステップと診療補助 (1)総義歯について ①検査から印象採得について説明できる。 ②咬合採得について説明できる。 ③人工歯選択について説明できる。 ④ろう義歯試適について説明できる。 ⑤有床義歯治療の装着、調整、修理について説明できる。 ⑥リライン、リベース、修理について説明できる。 ⑦確認試験(国試問題を含む)	[予習]教科書 P134～141 を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 概形印象、個人トレー、精密印象、咬合採得、ゴシックアーチ描記法、ろう義歯試適、発語検査、義歯装着、調整、リライン、リベース	講義 ○玉置勝司
13 (7/)	第8章 有床義歯治療の臨床ステップと診療補助 (2)部分床義歯について ①検査から印象採得について説明できる。 ②咬合採得について説明できる。 ③人工歯選択について説明できる。 ④ろう義歯試適について説明できる。 ⑤有床義歯治療の装着、調整、修理について説明できる。 ⑥患者指導、定期検診、メンテナンス、経過観察 ⑦確認試験(国試問題を含む)	[予習]教科書 P142～153 を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 支台歯の前処置、精密印象採得、咬合採得、人工歯選択、ろう義歯試適、患者指導、定期検診、メンテナンス、経過観察	講義 ○玉置勝司
14 (7/)	第9章 歯科衛生士過程と補綴治療における患者指導 ①歯科衛生過程について説明できる。 ②補綴治療の対象となる患者の歯科衛生過程について説明できる。 ③クラウンブリッジ、有床義歯、インプラントの患者指導について説明できる。 ④歯科衛生士による食事指導を説明できる。 ④確認試験(国試問題を含む)	[予習]教科書 P154～165 を読んでおく。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] 歯科衛生過程、歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画、歯科衛生介入(実施)、歯科衛生評価 オーラルフレイル、高齢者、低栄養、BMI、MNA、多様性食品の摂取	講義 ○玉置勝司
15 (7/)	講義の振り返り ①確認問題(40問) ②歯科衛生士の役割に関する記述問題(2問)	[予習] P166～203 を読んでおく。 配布した問題演習。 [復習]配布物該当部分を理解しておく。 [キーワード] これまでのものすべて	講義 ○玉置勝司